

おわりに



太田郷土誌発刊委員会

年表 この50年間のできごと

年号	西暦	太田校下の出来事	日本、世界の出来事
昭和			
35	1960		チリ地震、ベトナム戦争
38	1963		富山空港開港
39	1964		10/1 東海道新幹線開通
45	1970		大阪万博
46	1971	武田家が国重要文化財に指定される 武田家自衛消防隊設置	東北・上越新幹線開通
		万葉歌碑設置 太田の湯主古市忠雄（堀健治書）	
47	1972	大師岳山頂にテレビアンテナが設置	2月 あさま山荘事件
			3/15 山陽新幹線開通
			5/15 沖縄本土復帰
48	1973	太田小創校100周年「太田－歴史と風土－」刊行 つままの歌	オイルショック 日本全土に危機的物不足発生
		自然休養村指定	
		太田に農協ができる	
49	1974	松太枝浜広場整備	
		3/2 太田保育園 創園10周年記念のしおり発刊	
		太田小 県教育委員会「情報教育」研究校指定	
		太田小相撲場が完成。つままの舞始める。	
		白山林道開通	
		第2期土地改良始まる	
50	1975	武田家解体修理完工	
		太田小 「学ぶ喜び」第1集を刊行	
51	1976	辰日、西田公民館建設	
		赤十字奉仕団太田分団設置	
52	1977	太田自然休養村管理センター建設	
		6/18 岩崎紅葉谷地内の土地の環境保全等について覚書が交わされた。	
		市立太田公民館建設	
		国道415号雨晴バイパス開通	
		土地改良完工	
53	1978	4/1 太田自然休養村がオープン	
		太田公民館開設 初代館長 大森新蔵氏	
		雨晴拉致未遂事件	
54	1979	雨晴ハイツ設立・オープン	東京サミット開く

年表 この50年間のできごと

		3/22 伏木消防署太田分遣所は太田公民館新築に伴い、現在地に移転新築、落成式	守山小、二上小閉校：万葉小へ
		9月 太田小「地域学習」実践研究発表会	
55	1980	国泰寺利生塔再建計画	ペルヘー戦争始まる。
		12月 太田小教育活動のまとめ「都万麻」発行	
56	1981	松太枝浜護岸工事始まる	高岡万葉まつり始まる
		国泰寺機関紙「清泉」創刊	
		太田ふるさとまつり実施	五六豪雪
57	1982	太田小学校改築完工式行う。現在の校舎になる。	東北新幹線開通
		太田小学校 海岸の松の木の調査	
		県道魚津～氷見線が国道415号線になる	
		殿山農園開所	
		太田小に万葉歌碑設置 村田豊二書	
58	1983	9月 太田小創校110周年記念式挙行 同窓会名簿発刊	高岡地場産業センター開設
		11月「郷土に立つ全人教育」実践研究発表会	
		P T Aの協力で海岸清掃活動	
		太田小「太田に学ぶ」発刊	
59	1984	桜谷古墳祭 国史跡指定50周年祭	
		国泰寺利生塔再建完成	
60	1985	西田運動公園設置	
		景勝地北陸30景富山県第1位に雨晴海岸	
61	1986	太田小 県小教研究推進協力校道徳研究発表会	
		義経社30周年記念祭	
		アッパレ王国まつり	
		太田分団西田置き場設置	
		国泰寺 稲葉心田管長ご逝去	
62	1987	太田小 道徳研究発表会	4月 国鉄からJ Rに移行 氷見線はJ R氷見線に
		国泰寺 沢大道管長就任	
63	1988	大本山国泰寺消防隊設置	
平成			
1	1989	8月 太田小 F R Pプール完成、グラウンド拡張	北陸新幹線工事着工 6/16高岡ケーブルネット設立
		太田保育園改築完工式を行う	11/4 弁護士一家殺人事件
		7/1 雨晴に市営駐車場が完成	高岡法科大学が法科単一大学として開学
		9月 高岡市特別養護老人ホーム雨晴苑開設	11/21 チューリップテレビ設立、翌年開局
2	1990	雨晴海岸カラー舗装・トイレ完成	万葉集全20巻朗唱の会

年表 この50年間のできごと

				高岡市万葉歴史館開館	
				～1991 湾岸戦争	
3	1991	桜谷古墳21基の確認		5/27 高岡ケーブルネットワーク株式会社開局	
		4月 太田小 ボランティア活動普及推進校指定			
		7月 雨晴駅に駅員廃止 駅務が地元委託となる			
4	1992	太田地区に下水道が敷設される。		雲仙普賢岳噴火	
		桜谷古墳の駐車場が整備される。			
		雨晴海岸C.C.Z（ふれあいの海辺）整備計画の認定			
		10月 太田小 学校給食研究発表会 ランチルーム改修			
5	1993	松太枝浜浄化センター通水式 処理施設上部を利用して太田総合グラウンドができる		2/7 能登半島沖地震	
		与茂九郎池改修工事完了		7/12 北海道南西部沖地震（奥尻島北方沖）	
		9月 太田小創校120周年記念式挙行 記念文集「太田っ子」発刊			
		10月 太田小県教育委員会表彰（学校給食優良校）			
6	1994	1月 雨晴につまま公園が完成		3/18 大和高岡店をテナントとして御旅屋セリオ開業	
		4月 太田小 文部省「勤労生産学習」研究推進校指定			
		雨晴駐車場壁面完成		6/7 松本サリン事件（オウム真理教幹部が神経ガス散布）	
		6/30 漁民センターが完成			
		太田小 学校給食、給食指導に市教育振興会表彰 優良校として文部大臣賞受賞			
7	1995	太田小 文部省「勤労生産学習」研究発表会		1/17 阪神淡路大震災	
		学校給食、給食指導について市より教育振興会表彰		3/20 地下鉄サリン事件	
8	1996	太田小学校日の出マップ作成 海岸の漂着物調査		10月 富山ー関西空港間開通 1999休止	
		雨晴海岸が「日本の渚百選」に選ばれる			
9	1997	4月雨晴クリニックス開院 老人保護施設アルカディア雨晴開設		10/1 長野新幹線	
		ラジオウォーク万葉が太田を中心に行われる（万葉歴史館 犬養館長）			
10	1998	4月太田小 県土美化推進功労者表彰受賞		長野冬季オリンピック開催	
11	1999	1/20 雨晴展望台が完成			
		2月 太田小「浜清掃」により市学校教育振興会表彰			
		4月 太田小学校教育振興会設立 県小学校教育課程研究推進校（保健）～12年			
		10/29 赤尾谷内新3号池竣工式			
12	2000	赤十字奉仕団再結成			
		4月 太田小 日本体育・学校健康センター「学校安全研究校」指定			
		自然体養村で2000年国体の選手・監督らの歓迎会開催		2000年富山国体開催	
		10月 太田小 大谷科学賞受賞			
13	2001	1月 太田小 全国児童才能開発コンテスト学校奨励賞受賞		～2021 アメリカのアフガニスタン侵攻（対テロ戦争）	

年表 この50年間のできごと

14	2002	2月 「学校安全研究大会」実践発表会 11月 学校安全で文部科学大臣賞を受ける	
		6月 雨晴トンネル完成 11月 もみじ姫公園完工	
		6/17 磯はなびが完成	
		9月 雨晴駅開設90周年記念事業 S.L.が走る 駅前に大型パノラマ写真の設置	
		「太田の歴史と文化を語るタベ」開催開始	
		4/15 太田雨晴観光協会設立	
		9月 有磯神社改修記念神事開催	
		太田土地改良区が事務移管	
15	2003	女岩の補強工事 5月 雨晴海岸浸食対策護岸工事	海王丸パークで全国豊かな海づくり大会開催
		3/31 消防署太田分遣所の署員の廃止	
		9月 太田小創校130周年記念式挙行「太田の教育『學』」刊行	
16	2004	2月 太田小 地域環境美化により県環境功労賞を受賞	
		10/31 高岡市雨晴マリーナ開港式	
		リゾートビラ雨晴開設	12/26 スマトラ島沖地震
17	2005	7/15 太田小学校地域安全パトロール「ささりんどう隊」結成、発足式	4月 富山大学高岡キャンパスに芸術文化学部を設置
		11/17 西田養鶏場建設説明会	旧富山大学、富山医科薬科大学、高岡短期大学が富山大学として開学
18	2006	養鶏場反対運動起こる（不成立）	高岡市小・中でのつぐり・デザイン科の授業が始まる
		7/23 万葉ロマン家持能登巡行追体験の旅	10/1～ 地上デジタル放送開始
		8/22 猛暑日39.5度 太田小「幼・保・小ふれあい事業」指定校	
		11/19 地域活動クラブ発足	
		雨晴海岸にふるさと眺望点の指定＝県の景観条例による	
		俳句作り優秀学校賞を受ける。	
19	2007	10/21 義経社50周年記念式祭	7/16 中越沖地震
		太田小 県小教研特別活動の研究校となる。	
		太田小の日の出会いはこの年以降7月に。	
20	2008	2/24 寄り廻り廻り波の被害（万葉ふ頭一文字防波堤等）	
		9/6 富山県総合防災訓練	
		太田小 特別活動の研究校2年度研究発表を行う。	
		「道徳と特別活動教育研究」優秀校となる。	
		太田小日の出会がこの年以降7月に開催	
21	2009	1月 太田小 道徳と特別活動の教育研究賞（優秀賞）受賞	
		3/8 高岡斎場見学会	7月 中国・九州北部豪雨
		7月 太田小 海洋保全に関する功績により海上保安庁表彰受賞	
		7/22 磯はなび創立30周年記念式典	

年表 この50年間のできごと

		9/6 雨晴苑創立20周年記念式典	
		10/3 開町400年太田の歴史と文化を探访する「歩こう会」開催される	
		12/6 松太枝神社祀百年記念	
		太田小、環境保安庁より感謝状を受ける。	
22	2010	3月 太田小 とやま環境賞「ジュニア活動部門」受賞 体育館耐震補強工事完工	12/4 東北新幹線全線開通
		3/12 太田小運動会優勝旗・玄関幕贈呈式	
		6/30 太田小 地域環境美化功績者環境大臣表彰受賞と記念祝賀会	
		7月 太田小 第9管区海上保安部環境保全に対する感謝状授与される	
		11/22 太田さきりんどう隊「文部科学大臣表彰学校安全ボランティア活動奨励賞」受賞と記念祝賀会	
		太田小学校とやま環境賞を受ける。	
		太田駐在所移転新築	
23	2011	7月 太田小 海洋保全に関する功績により海上保安庁長官表彰受賞	氷見寒ブリ商標登録
			2/22 ニュージャーランド大地震富士外国語学校の生徒多数死亡
			2/25 市子育て支援センターをセリオへ移転
			3/11 東日本大震災
			7月 新潟・福島豪雨 8 台風12号による豪雨
			7/24～ 地上デジタル放送に完全移行
			消防作業服の更新（現在のものに）
24	2012	7/1 雨晴海岸特別清掃（みんなできれいにせんまいけ大作戦in高岡）	6/1 関越自動車道高速バス居眠り運転事故
		9/15 雨晴駅開設100周年記念事業	富山きときと空港に改名（2 国内線、4 国際線も）
		11月 太田小 富山県教育委員会表彰（健康教育実践優良学校）受賞	7月 九州北部豪雨
25	2013	9/14 太田小創校140周年記念式典 記念文集刊行	1月 高岡ケーブルネットワーク 雨晴海岸ライブカメラ放映開始
		11/15 有磯海・女岩 国名勝に答申	
		12月 雨晴簡易郵便局が移転再開（殿谷より・殿谷淳子局長から吉井幸恵局長へ）	
26	2014	3/18 有磯海・女岩 国名勝に指定	4月 社会保険高岡病院がJCHO高岡ふしき病院に
		め・いーわちゃん作成	西広谷小が閉校：国吉小へ
		10/18 「世界で最も美しい湾クラブ」加盟	8月 豪雨
		11月 太田小 児童生徒保健委員会活動表彰 優秀校受賞	10月 高岡地区広域事務組合が稼働 高岡エコリセンター
			10/1 東海道新幹線開業50周年
27	2015	6/27 市消防団操法大会 太田分団優勝	3/14 北陸新幹線全線開通
		7/25 県消防団操法大会 太田分団参勝	全国豊かな海づくり大会
		太田土地保全会結成	9月 関東・東北豪雨
		10/7 義経岩 国名勝「有磯海」に追加指定（官報告示）	
		10/10 観光列車「べるもんた」運行開始	

年表 この50年間のできごと

		万葉歴史館で「家持の見た有磯海展」		
28	2016	この年以降、左義長はマリーナを会場に開催		
		7/25 太田小海洋環境保全に関する功績により国土交通大臣賞受賞		長野県スキューバス事故
		老人クラブ寿会朝日山観世音出現霊場整備		4/16 熊本大地震
		道の駅に句碑		
29	2017	6/24 市消防団操法大会 太田分団優勝		魚津で全国植樹祭開催
		7/22 県消防団操法大会 太田分団優勝		7月 九州北部豪雨
		7月 太田小 海洋環境保全に関する功績により国土交通大臣表彰受賞		
		義経岩前に踏切が設置される。（工費9,400万円）		
		岩崎鼻灯台が「恋する灯台」に認定		
30	2018	2/25 休養村廃止		
		3月 太田小 とやま環境賞「ジュニア活動部門」受賞		
		4/25 道の駅「雨晴」オープン		大伴家持生誕1300年記念式典
		武田家の修理		
		この年より太田敬老会廃止、巡回がん検診も廃止		7月 西日本大豪雨（広島大水害）
		マンホールカード（女岩と立山の図柄）発行		
		ご当地ナンバードラフト富山版に立山連峰の図		
令和	2019			
元		9/1 高岡市総合防災訓練		4/6 あいの風鉄道に観光列車一万三千尺物語運行
		この年より太田ふるさとまつり廃止		5/1 即位の日（令和に改元）
		10/14 湾クラブ世界総会 記念海岸清掃		8/25 高岡大和の閉店
		10/17 湾クラブ世界総会参加メンバー道の駅「雨晴」等視察		
		11/7 音楽研究指定を受け、音楽集会等が盛んに行われる。「ゆめの町太田」		
		太田小 富山県小学生火災予防研究発表会 金賞受賞		
		伏木港開港120周年		12月 中国武漢で原因不明の肺炎発症
		小学校再編成統合問題 伏木中学校区に28年度統合か		
2	2020	小中学校3月から自宅待機 卒業式、入学式は関係者のみで簡略に		1/31 WHOが暫定的に新型コロナウイルス急性呼吸器官病と命名
		4～5月 自宅待機 5月末から分散登校 給食は6月から 学校行事ほとんど中止		ダイヤモンド・プリンセス号、さっぽろ雪まつり、バンデミック等
		コロナ感染防止の面から『太田の歴史と文化を学ぶin武田家』中止（3年間）		東五位小、石堤小閉校：五位小へ
		児童生徒1人1台のタブレット端末の貸与始まる。		4/1 国吉義務教育学校開校（国吉小・中）
				東京オリンピック1年延期（コロナ禍のため）
				10月 地場産業センターの移転（旧大和セリオへ）
3	2021	学校の授業や行事に制限あるも復旧の兆しあり		4月 消防広域化「高岡市消防本部氷見署」へ改称
				7/23 東京オリンピック、8/24 パラリンピック開催

年表　この50年間のできごと

		湾岸サイクリングコース整備		コロナワクチン接種始まる（2～3回目も）
4	2022	松太枝神社神輿修復後のお披露目を春祭りに		2月　ロシアのウクライナ侵攻始まる
		コロナ下で、欠席者にも自宅で行われるリモート授業が行われる。		冬季オリンピック：中国
		学校行事のほとんどが再開されるが、簡素化、交代制など見直しが図られる。		平米小、定塚小閉校：高陵小へ
		野の花グループがボランティア団体表彰を受ける。		コロナワクチン接種続く（4～5回目も、小学生も対象
		9/4　万葉の里高岡第1回三上山トレイルラン開催される（コースに大師岳～殿山農園		
		白山林道～与茂九郎池等含まれる）		
		10月より地域おこし協力隊の佐藤順さん入居　観光大使として活躍が期待される		12月　勝興寺、国宝に指定される
5	2023	太田婦人会解散を宣言		2/16　伏木小学校創校150周年記念式を行う
		9/16　太田小学校創校150周年記念式を挙行、郷土誌「続　太田　歴史と風土」発刊		3月　氷見高校野球部春の選抜大会出場（21世紀杯）
				5/8以降　コロナ第5類に移行
				コロナワクチン6回目

太田の伝説

『首を切られた地蔵』

雨晴駅の北側の松林のなかに小さな堂がある。このなかにむかし首を切られたことがあるという地蔵さんが一体安置されている。

それは、かつて上杉謙信が石動山の衆徒をたすけて森寺城を攻めるために、軍船をつらねてこの沖合を通りかかったときのことである。風でも嵐でもないのに突然船が動かなくなった。謙信の武将たちは船頭たちを叱咤し、なんとか進めようとしたが、どうしても船は動かない。

「おかしいこともあるものだな」

とみんなが首をかしげて不思議がっているとき、武将のひとり鰐坂長実が、

「これはきっとこのあたりに住む魔神のわざかもしれぬ」

と家来を数名つれて上陸し、あたり一帯の魔神をさがしてあるいた。

ふとみると松と松との生い茂る林の中に、一体の地蔵がたっている。しかもその地蔵がにこにこわらってこちらをみている。

「さてはこいつのしわざだったにちがいない」

こう思った備中は、やにわに腰の大刀を引きぬいたかとおもうと、一刀のもとにその首を切り落とした。

「エエッ」

と切りつけて首を落とすと同時に、船はたちまち前進しだし、無事氷見浦に向かうことができたという伝えがある。

また、むかしの博徒は地蔵の首を持っているとバクチに勝つという伝えから、そう信じて首を取っていった者もあるので、他所でも時折、首のない地蔵があるともいわれている。

太田 竹本 吉夫

※文中の「鰐坂長実」は当初「有坂備中」でしたが、現在はこの表記です。

※雨晴西部自治会の有志の皆さんが、善念寺さんと相談して、年に一度お参りをしているそうです。

『国泰寺の蛇池（じゃいけ）伝説』

国泰寺の禅堂の裏の谷（たん）に、昔、池があった。そこに竜が住んでいた。そのせいか、開山忌にはきまって雨が降った。そして、不思議なことに、大般若経があがっているとき、お詣りしていた人が帰ったあと、畳のどこか必ずぐっしょり水に濡れたあとがあったという。

そこで、画才のある雲水のひとりが、何とかして竜の姿を一目見たいと、暇をみてはこの池の畔へでかけ、お経をあげていた。すると、ある朝早く、とうとう竜が、池から姿をあらわした。これぞ、御仏のお導きとばかり、一心不乱にかきつづけ、とうとう見事な絵に描きあげた。

この竜の絵は、今も国泰寺本堂、内陣の天井画になっている。

谷内 寺尾 信一郎

『もみじ姫』伝説

渋谷の近くにもみじ谷というところがある。昔この渋谷に太郎という者がいた。当時の主な税として地方から都へ労役が課せられていたが、太郎も都で禁裏御所の雑役を課せられた。太郎は毎日与えられた仕事をまじめに励んでいた。その日も遠い故郷をしのんでひなびた節まわしの歌を歌いながら勤めていた。その歌声は、聞く者をうっとりさせる素晴らしいものであった。そんなとき背後から、

「玄鳥、玄鳥。」

と親しげに太郎の渾名を呼ぶ者がいる。見れば宮中でも最も美人のきこえ高い「紅葉の局」の侍女である。

「紅葉様がお前の歌を愛でて、ぜひ間近で聞きたいとの仰せじゃ。」

これが縁で太郎は紅葉姫と知り合うようになった。楽しい日々を過ごすうちにいつしか奉公を終えて故郷へ帰らねばならない日が近づいた。姫は太郎にそっと歌を贈った。

玄鳥の羽をそろえて発つときは 九重の塔も下に見るなり

ところがこの歌がやがてどのようにして帝のもとへ伝わったか判らないが、ご叡聞に及んだ。帝はある日紅葉姫を召されて、

「下に見るなりというのは、玄鳥について行きたいという気持ちをいっているのであろう。それほどまでに玄鳥をしたう思いが強いのならお前の好きにするがよい。」

と二人の結婚をお許しになった。

太郎と紅葉姫はとても喜びながら帰郷の途についた。たがいに手を取りあつて険しい山坂を越え、幾日も幾日も幾日もかかってようやく越中に入った。しかしなつかしい故郷を目の前にして、たずさえてきた食料が底をついた。二人は空腹を覚えたので太郎は紅葉姫を待たせ、栗でもひらってくるからと山に入った。

姫は道端に休んだり、草むらのなかの花を摘んだりして待っていたが太郎は一向に帰ってこない。待ちあぐねている間に、日が西に傾きかけたので姫は途方にくれた。とにかく、道すがら話に聞いた太郎の在所の澁谷村へ行かねばと、つかれた身をふるいおこして、澁谷をめざしてとぼとぼと歩き始めた。

姫が国府までどうにかたどりついたときには心身ともどもくたくただった。そこから太郎の家までの道は大変な難所で茨がはびこり、雑草が丈高く生繁っている細い山道である。

生まれてこのかた京の都より外へ出たことのなかった姫にとっては、このような草深く足場のもろい悪路をたった一人で歩かねばならぬということは、心細いかぎりであった。それでも今は太郎より他にたよるすべのない身の上。ただただ澁谷へたどりつくことだけを一心に念じて、必死に先を急いだ。だが行く手をはばむ丈高い草は顔を覆い、白い手は茨にからまれ鮮血を流した。あげくにあとどれほどもない所で、深い谷川にぶつかり行く手をとざされてしまった。女一人の力ではどうしても渡ることができない。ついに今までもちこたえてきた気力もぬけて、いっぺんにくずおれてしまった。

「ああ、・・・玄鳥・・・」

姫は切り立った谷を目の前にして、精根がつき、涙とともにそのままそこに行き倒れの身となった。

いっぼう、ようやくもどってきた太郎は、待っているはずの姫の姿が見当たらない。

「姫ーッ、姫ーッ」

とあたりをくまなく探したが皆目見あらない。さては待ちくたびれて、一足先に我家へ向かったのかも知れぬと、あとを追って道を急いだ。何か妙な胸騒ぎを覚えながら谷のところまでくると、そのほとりに倒れている姫を見つけた。息せききって駆け寄り姫を抱き上げたが、もうすでに息絶えていた。そのいたいたしい姿に太郎は頬ずりして泣いた。太郎は狂気したように大声で姫の名を何遍もよんでゆさぶったが、ついに魂は帰ってこなかった。

やがて太郎はその場所に小さな墓を建て、二度とこのようなことが起きないように祈りながら橋を架け紅葉橋と名付けた。その後、里人たちはこの谷を紅葉谷と呼ぶようになり、秋になると、姫の生まれ変わりのような美しい紅葉が山一面を彩り、景勝の地として親しまれてきた。だが、墓の傍にあったという栗の木はそれ以来、決して実をつけることはなかったという。

中村 渋谷 露子

『与茂九郎池（よもくろいけ）』

太田村にむかしから四つのため池があり、いつ出来たかさだかではない。その中で、最も大きいのが与茂九郎池である。与茂九郎という人が造ったといわれている。

ほかに水利とてないこの地域では、このため池が村人にとってかけがえのない水源として、太田の田を養っている。ところが、昔は日照りのため米もほとんどみのらないという年もあった。村人たちは困り果て、遙々、信州の戸隠大明神の池まで馬に水甕をの

せて水を貰いに行き、雨ごいをして雨を降らせてもらい、ようやく米作りができたと言
い伝えられている。

これがもとで、霊験あらたかな戸隠神社の池の神様を分神として願い受けてきて、よ
もくろ池の畔に祠を建てて、お祀りした。その水神様は弁天様である。木造で元は極彩
色と思われ、たいへん姿美しく蛇がまきついている。そのためか、この池に竜が住みつ
いているという言い伝えがある。むかし、この村のあるかあかあ（おかみさん）が、与
茂九郎池の畔へ、きのこをとりにいった。日が暮れかけたころ、きゅうに雨が降り出し
た。ふと池をみると、水面に竜の姿が映っているではないか。かあかあは腰もぬかさん
ばかりに驚いて逃げ帰ったという。

現在は、この水神様、すなわち蛇のまきついた弁天様は五か村の宮、有磯神社に合祀
された。毎年、6月26日、虫送りとともにお祭りしている。

ところで、この与茂九郎池は、長の歳月の間に度々、干ばつや大水の被害があった。
たとえば、明治41年6月、田植えの最中、与茂九郎の大池が決壊、池の水は怒涛のよ
うに流れ出た。あれよあれよと言う間に田畑は流され、大変な被害を受けた。

このときの大水のため、辰ノ口松太枝神社の横の県道に1m以上の深さに水があふれ
た。その復旧のため、村人の苦労は並たいていのもものではなかったという。

さらに大正10年、ひどい干ばつに襲われた。田の苗は打ち続く日照りで、すべて枯
れそうになった。そのとき、各農家では打込ポンプで田へ水を入れ、稲はその水の入っ
たところだけ助かったが、あとは全部やられたという。

その後、ため池を増やし、水を日照りのときも田へ灌漑できるようになったので、今
では被害はほとんどなくなり村は豊かになった。

辰ノ口 金井 与四松
太田小 佐野 善雄

『雨晴岩』

男岩（おいわ）・女岩（めいわ）の続きの磯辺に高さ7尺（2m余り）ばかりの岩を
両方に立て、その上に長さ3間（げん）（5m余り）の大岩をおき、その下を「雨晴し」
という。

むかし、義経東下り（奥州さして落ちていく）の時、この浦を通行したところ、にわ
かに大雨が降ってきたので、弁慶が雨晴のため、大岩をさしあげて、これをつくった。
義経公はじめ供の人々がもろともに、この岩の下に入って雨晴しをされたという。

その岩は、大変大きなもので、上に松など生えている。岩の下はかなり広く、10人
～15人ぐらいの雨宿りはされるように思われる。義経の腰かけ石、また弁慶のまな板
石といわれるものも、ここにある。

これを、村人は、昔から義経の雨晴岩とよんでいる。

★思うに、文治2年、奥州下りの時であろう。ただし、「義経記」に記されている道順を考えると、俱利伽羅峠を越えて、松長の八幡で夜を明かし、ここから如意の源を越えて、六動寺（六渡寺）を通られたように思われる。如意の渡というのは、今でいう伏木の渡である。

この順路によると、太田の辺は通られないように見えるが、こっそりかくれて通られる道中であるため、守山から道を横切って、この太田へ出られたのではなかろうか。

大正元年、氷見線が開通したとき、この伝説「義経雨晴」の名をとって、駅名が「雨晴」となり、地名としての「雨晴」が誕生した。

雨晴 武田 鉄男

『山岸の「清水（しょうず）」』

平（だいら）の山麓の洞（ほら）から、古来、ずっときれいな清水が湧き出て、小さな湧水の池ができています。ここは、どんな日照りの年も、水が絶えたことがない。夏でも水温が11度を越えないほど、冷たい水である。それで、この付近の人々は山仕事や田んぼの帰りには、必ずここで水を飲み、のどをうるおした。

あるおばあさんは、この「清水」の水を「死に水にほしい」といってなくなられたという。それほど、おいしい水が絶えることなく湧きでている。昔、鞍田さんの家では、この水で酒を造っておられたほどだという。現在も、この水は、7段ばかりの田を養っている。

この清水池の少し上の高台に、水神様を祀ったお堂がある。

この「清水」にむかしから、火のような「御魂迎え（みたまむかえ）」行事（ご先祖様の魂をお迎えする）が伝承されている。

それは、盆の13日に村の子供達の手で行われる。大将株の男の子が竹で船形を組み、その上へ乾かした熊笹の葉を束ねて、山の形にもりあげたものを、清水池のほとりへおく。

ほかの子供達は、それぞれ棒に熊笹を結びつけたものと御幣を用意する。熊笹の棒は、池の近くの平地にずらりと並べ、御幣は池のところにおかれた舟形（熊笹）の山へさしこむ。

用意はできた。平の山の上から3～4人の子供が熊笹の棒に点火し、坂を駆けおりて、下の平地に並べられた熊笹の棒に、次々と火をうつす。棒に松明（たいまつ）のように一斉に火がつく。その火の棒を、今度は池の舟形の山に点火し、赤々と燃え上がった舟を押して「オショウラーイ」「オショウラーイ」と口々に呼ばわりながら、洞穴の奥へ

おしこんで燃やすのである。

なお、昔、この清水の洞に白蛇が住んでいたという言い伝えがある。

山岸 島 由太郎

『観音伝説』

今から千三百年ほど前、氷見の加納に当麻（たいま）という人がいた。当麻は国府（伏木）の下役を勤めていた。当時の里人たちの着ていたものは、それは大変みすばらしいものであった。

だが、当麻は役人たちのお使役だったので烏帽子（えぼし）に狩衣（かりぎぬ）といった立派な姿で国府と在所の間を毎日通っていた。

ある日のこと、当麻は加賀の国へ使いに行ってくることを命ぜられた。旅支度をしてさっそく馬に乗って出かけた。ちょうど太田の浜（現在の伊勢領）の付近へ来た時、

「当麻さ、当麻さ」

と呼ぶ声が聞こえたので、だれだろうとあたりを見回したが、だれもいない。

空耳だったのか

と思いながら、馬を進めだすと、また、

「当麻さ、当麻さ」

という声。すかさず声のほうにふりむいたがやはり人かげがない。

「今度こそはたしかにこの耳で自分を呼んだ声を聞いたのだからなあ」

当麻はひとりごとをいいながら馬をおり、あたりをうかがった。すると、波打ちぎわの石の間から、かすかに光明がさしているのを見つけた。さてわー、と思ってそこをのぞきこむと、何と中指くらいの小さな観音像が一体あった。思わず手に取ってみると、檀金像の立派な仏様である。

当麻はびっくりして思わずひざまずき両手を合わせた。

「当麻さや、わしをつれて帰ってくれ」

とのお声に、当麻は二度びっくりした。だが今はおかみの御用で行かねばならぬ身。そこで当麻は、

「観音様、すぐにもお連れしたいのですが、おら加賀まで行ってこなければなりませぬ。もったいないことではございますが、もどってくるまで、ここでお待ちくださいませ」と、石で観音様の周りを囲み、目印をして立ち去った。

加賀までの旅は、観音様のことで気もそぞろだった。ご用を済ませ急いで帰り、目印の石の囲みをとって、無事観音様をお連れし、自分の家に安置した。

それから数年の月日は流れた。ある日のこと、当麻は夢の中で、朝日のさすところへやってほしいとの観音様のお告げをきいた。

—— 朝日のさす方とはどこだろう ——

いろいろ考えた末、氷見朝日山の上日寺を思いつき、わけを話してお守りしてもらうことにした。寺ではさっそく境内の高台にお堂を建て、観音様を安置した。

その後、みごとな檀金像の観音様を盗もうというたくらみをする者がいたので、寺ではそれを防ぐために五尺（約 1.5m）あまりの木造の観音様を二体づくり、その一体の体内に檀木像の仏像をうめこんで安全をはかった。今から二百年ほど前、火災にあった。住職や信徒たちはこの猛火では観音様も焼けてしまっただろうと思い悲しみにひたりながらあとかたづけをはじめた。ところが焼け跡から、

「わしゃ、ここにいるぞう」

という声をした。みんなびっくりしながら声のする方へ行ってみると、堂から少し離れた松の木の根元に、少しは焼けこげてはいたが二体とも無事におられた。

一同はホッと胸をなでおろし、さっそく現在の観音堂を再建し、そこに安置したといわれている。

昭和十二年十月、伊勢領の観音様発祥の地に記念の石碑を建立した。

朝日山観世音菩薩が出現したといわれる霊跡の石柱が立っている場所の背後の砂丘の上に、小さなお堂がある。この中には観音様が安置されている。

昔、このあたりに住んでいた村人のひとりが、夢まくらに立たれた観音様のお告げで、お堂を建てて安置したといわれている。

「わしは砂丘下を流れている川にかけられている橋の根元にいる。たのむから丘の上にだしてくれ」

といわれたので、あくる朝さっそく川へいって橋の根方を掘ってみた。するとたしかに泥にまみれて観音様が一体あらわれた。

それで近所の人たちと相談して、お告げのとおり、砂丘の上にお堂を建てここに安置して崇敬しているのだと、言い伝えられている。

氷見市中村 鷺森 悦子



（「むかしあったとさ ―親子で語りあおうふるさとの民話―」
伏木地区小・中学生指導連絡会 編集 昭和 58 年 7 月 より）

○太田ふるさと検定 平成 20 年 2 月 伝承の会作成(令和 4 年 一部改訂)

- 問 1 与茂九郎池のダムは何方式で作られていますか。
a) ロックフィルダム b) アースダム c) コンクリートダム
- 問 2 与茂九郎池の堤の長さは何 m でしょうか。
a) 約 110m b) 約 90m c) 約 120m
- 問 3 太田マリーナの船係留能力は、海上、陸上あわせて何隻でしょうか。
a) 約 80 隻 b) 約 100 隻 c) 約 120 隻
- 問 4 マリーナの運営はどの形態で行われていますか。
a) 市の運営 b) 県の運営 c) 企業共同体運営
- 問 5 太田の総面積はどれくらいあるでしょうか。
a) 約 5.5 km² b) 約 7.5 km² c) 約 10 km²
- 問 6 太田の面積のうち山林面積の占める割合はどれくらいでしょうか。
a) 30% b) 60% c) 80%
- 問 7 桜谷古墳が指定を受けているのは次のどれでしょうか。
a) 県の重要文化財 b) 国の史跡文化財 c) 国の重要文化財
- 問 8 桜谷古墳はいつごろ造られたものでしょうか。
a) 2～3 世紀 b) 4～5 世紀 c) 6～7 世紀
- 問 9 太田台地で円墳等が多数発見されていますが、これ全体を何と呼ぶでしょう。
a) 太田古墳群 b) 桜谷遺跡群 c) 桜谷古墳群 d) 太田桜谷古墳群
- 問 10 万葉集に出てくる「磯の上のつままを見れば～」というつままの木とは何の木でしょうか。
a) ハイズネ b) 松の木 c) タブの木 d) トチノキ
- 問 11 与茂九郎池は何 ha の水田を潤しているでしょうか。
a) 約 50ha b) 約 70ha c) 約 90ha

問 1 2 太田の伝説の中に首切り地蔵の話がありますが、それはどこにあるでしょうか。

- a) 駅周辺 b) 松太枝浜周辺 c) 伊勢領周辺

問 1 3 大師ヶ岳の標高はどれくらいでしょうか。

- a) 233.6m b) 243.6m c) 253.6m

問 1 4 西田に國泰寺がありますが、その宗派はどれでしょうか。

- a) 曹洞宗國泰寺派 b) 臨済宗國泰寺派 c) 真言宗國泰寺派

問 1 5 初めて雨晴トンネル（隧道）が開通したのは昭和何年でしょうか。

- a) 昭和 30 年 b) 昭和 32 年 c) 昭和 34 年

問 1 6 新しく雨晴トンネルが完成したのはいつでしょうか。

- a) 1999（平成 11）年 b) 2002（平成 14）年 c) 2004（平成 16）年

問 1 7 太田消防団は伏木の第何分団でしょうか。

- a) 第 3 分団 b) 第 4 分団 c) 第 5 分団

問 1 8 少子化が進んでいる現在、太田も例外ではありませんが校下の人口は。

- a) 約 2,200 人 b) 約 3,000 人 c) 約 3,500 人

問 1 9 太田校下の全軒数は何軒あるでしょうか。

- a) 約 650 軒 b) 約 700 軒 c) 約 850 軒

問 2 0 全軒数の中、名字が 1 文字だけの家は何軒でしょうか。

- a) 5 軒以上 b) 10 軒以上 c) 15 軒以上

問 2 1 全軒数の中、名字に 3 文字つく家は何軒でしょうか。

- a) 2 軒 b) 4 軒 c) 6 軒

問 2 2 万葉集に歌われているつままの歌碑は校下にいくつあるでしょうか。

- a) 1 か所 b) 2 か所 c) 4 か所 d) 6 か所

問 2 3 太田にある「雨晴音頭」はいつごろつくられたのでしょうか。

- a) 明治 9 年 b) 大正 9 年 c) 昭和 9 年

問 2 4 雨晴音頭の最初の句は。

- a) 磯のつまま～ b) 波の澁谷～ c) 岩にかくりよと～

問 2 5 桜谷古墳の形態は次のどれでしょうか。

- a) 後方前円墳 b) 土盛り前円墳 c) 前方後円墳

問 2 6 氷見郡太田村（現太田）が高岡市に編入されたのはいつでしょうか。

- a) 明治 28 年 b) 昭和 28 年 c) 平成 28 年

問 2 7 昔、太田の石を切り出して船で運んでいましたが、その石の名前は。

- a) 岩崎石 b) 太田石 c) 渋谷石 d) 雨晴石

問 2 8 紅葉谷には一つの伝説がありますが、その内容は。

- a) 哀しい話 b) 楽しい話 c) 怖い話 d) 人情話

問 2 9 雨晴海岸（太田浦）の総延長は何kmあるでしょうか。

- a) 3.2 km b) 4.2 km c) 5.2 km

問 3 0 松太枝浜近くにお堂があります。何の神様を祀ってありますか。

- a) 海の神様 b) 山の神様 c) 五穀豊穰の神様

問 3 1 二上山のふもとに白山林道がありますが、その総延長は何 k m ありますか。

- a) 約 5 km b) 約 7 km c) 約 9 km d) 約 11km

問 3 2 北アルプスを望める雨晴海岸みたいな所は、世界で何か所ありますか。

- a) 2 か所 b) 3 か所 c) 4 か所

問 3 3 國泰寺は何天皇の勅願所でしょうか。

- a) 後醍醐天皇 b) 後村上天皇 c) 後藤原天皇

問 3 4 國泰寺に「東司」という建物がありますが、何の場所でしょうか。

- a) 台所 b) 寝室 c) 修業の場 d) 便所

問 3 5 旦保部落に武田家があります。何の指定を受けているでしょう。

- a) 県の重要文化財 b) 国の重要文化財 c) 国の史跡文化財

問 3 6 雨晴海岸は、何の「100 選」に選ばれていますか。

- a) 日本海 100 選 b) 海岸 100 選 c) 渚 100 選

問 3 7 与茂九郎池の守り神様は。

- a) 大黒様 b) 弁天様 c) 水神様 d) 龍神様

問 3 8 雨晴海岸に多く生えている松はなんですか。

- a) 赤松 b) 黒松 c) 這い松 d) 唐松

問 3 9 公共の宿として「磯はなび」がありますが、正式名は。

- a) 雨晴ハイツ 磯はなび b) 雨晴温泉 磯はなび c) 雨晴温泉 ホテル磯はなび

問 4 0 現在太田地内に神社は何か所あるでしょうか。

- a) 3 か所 b) 4 か所 c) 5 か所

問 4 1 國泰寺山門の両脇に立つ立像は。

- a) 大日如来像 b) 薬師如来像 c) 阿吽の像 d) 不動明王像

問 4 2 与茂九郎池堤の幅は何メートルでしょうか。

- a) 4 m b) 6 m c) 8 m

問 4 3 太田漁港は国の指定を受けて事業展開していますが、その名称略語は。

- a) C Z C 計画 b) C C Z 計画 c) C Z Z 計画

問 4 4 冬に海が荒れて海岸に泡が立ち風で飛んでいくことがあります。この泡を何と呼ぶでしょうか。

- a) 海の花(華) b) 塩の花(華) c) 波の花(華) d) 白波の花(華)

問 4 5 歴史伝説の義経岩は別名を何と呼ばれているでしょうか。

- a) 弁慶が雨宿り b) 義経一行が雨宿り c) 義経一人雨宿り

問 4 6 歴史ある太田小学校は、何年に創立したでしょうか。

- a) 明治 6 年 b) 明治 16 年 c) 明治 26 年

問 4 7 桜谷古墳 1 号墳、2 号墳が指定を受けた年は何年でしょうか。

- a) 明治 9 年 b) 大正 9 年 c) 昭和 9 年

- 問 4 8 松太枝浜キャンプ場を利用したいときは許可はいりますか。
a) 書面で届ける b) 届けなくてよい c) 口頭で言えばよい
- 問 4 9 雨晴駅は中越鉄道の運行開始と同時に開業しましたが、その年は何年ですか。
a) 明治 45 年 b) 大正元年 c) 大正 15 年
- 問 5 0 国泰寺では開山禪師を偲び毎年開山忌が営まれています。いつでしょう。
a) 5 月 2 日～3 日 b) 6 月 2 日～3 日 c) 7 月 2 日～3 日
- 問 5 1 殿山農園ではいくつかの果樹を栽培していますが、栽培していないものは。
a) ぶどう b) りんご c) 栗 d) 桃 e) さつまいも f) 柿
- 問 5 2 海中で泳いでいる魚をねらって飛んでこない鳥はどれでしょうか。
a) トンビ b) カラス c) サギ d) ウ
- 問 5 3 雨晴沖には岩がたくさんありますが、常に海面下にある岩はどれですか。
a) 三ツ岩 b) クジラ岩 c) 鎌岩 d) オコゼ岩

解答

1 b	2 a	3 b	4 c	5 b	6 b	7 b	8 b	9 b
10 c	11 c	12 a	13 c	14 b	15 b	16 b	17 b	18 a
19 c	20 b	21 c	22 c	23 c	24 c	25 c	26 b	27 a
28 a	29 b	30 a	31 c	32 b	33 a	34 d	35 b	36 c
37 b	38 b	39 b	40 a	41 c	42 b	43 b	44 c	45 b
46 a	47 c	48 a	49 a	50 b	51 d	52 b	53 c	

おわりに

編集後記にかえて

— 世代を超えて次の 50 年へ — （太田の歴史伝承プロジェクト）

今年は太田小学校創校 150 周年の記念すべき年です。改めて、この太田地域の歴史・資源を記録し、世代間の交流の場を設け、次世代に伝えたいと考えています。

地域の課題として最も深刻な点は、人口減少と少子化です。

太田の人口は、70 年前の 3 分の 2 に、10 年前から 2 割減となっています。（昭和 33 年（1955 年）には 3,301 人であったものが、令和 5 年（2023 年）には 2,190 人になっています。）これは、地域活動を担う人材が減っていることにほかなりません。

また太田小学校の児童数を見ると、80 年前の 5 分の 1 になっています。昭和 16 年（1941 年）に全校児童が 356 人だったのに対し、令和 5 年（2023 年）には、64 人となりました。これは、地域の様々なことを受け継ぐ将来世代が減っていることにほかなりません。

人口減少、少子化は、地域活動を担う人材が減っていること、さらに、地域の様々なことを受け継ぐ将来世代が減っていることになります。

この度、太田小学校創校 100 周年以来の 50 年間を取り上げる郷土誌を編集したいと考えたのは、最近 50 年間の出来事をまとめた文献がないこと、この 50 年間にいろんなことが、現に住んでいる住人の私たちが意識しようがしまいが、大きく変化していることに、今更ながら気づかされたからです。

「今、記録しておかないと消えてしまう」、そんな危機感にも似た思いが編集委員の胸に去来していました。当時のことをよく知っている、あるいは覚えている人がいるうちに、聞き取り、記録として取りまとめておきたい。資料が残っているものをかき集めて散逸しないように紙ベースのみでなく、電子データ化していつでも取り出せるようにしておきたい。氷山の一角かもしれないけれど、「太田 歴史と文化」の続編を作っておきたい。さらに、作ったものを子どもたちやその親世代、働き盛りの若い世代に伝承していきたい。と強く感じさせられたのです。

幸いにも今からさかのぼること 10 年以上前から、太田の有志が集う「伝承の会」で、様々な研究や活動が展開され、その研究成果がいくつも残されていました。当時熱心に取り組んでおられた方のなかにはすでに故人になられた方や病気等で研究を続けられないという方もおられます。そんな皆さんの遺志や意志を引き継ぎ、資料を参考にしながら、情報収集、記録、整理を行い、編集の取りまとめを行ってきました。

郷土誌が完成・発刊した暁には、これを今後どう生かしていくかを工夫したいと考えています。昔を懐かしく思い出すことも大事なことです。現状を把握し、さらにより過ごしやすい、魅力的な太田地区にするにはどんなことをしていけばいいか、一緒に考

えてくれる人が一人でも多く、いえ、読んだすべての人がそんな心持ちで過ごせるようになればと思っています。それが郷土を愛すること＝郷土愛につながり、さらに勢いのある地域に、活気のある地域に、多くの人から愛される地域になっていくことでしょう。地域資源を愛する人材を育て、さらに新しい発想ができる人材を育てることで、大切なふるさと太田を活性化させていきたいです。

今回の郷土誌編集には、力不足を痛感させられています。参考文献を掘り起こし、時間をかけて深く探求し、もっと丁寧に多方面から検証しなければならないところを、上辺だけとらえてまとめてしまったのではないかと反省しています。今後、さらに継続して研究してくださる方がおられれば、是非お願いしたいところです。

今回は、「伝承の会」のメンバーの熱意を受け継いで取材・執筆活動を続けてきた編集委員各位、独自の方法で膨大な資料収集の上で「あるちゃ太田の魅力」をまとめ上げられた寺寫與資造氏、太田小学校の校長先生をはじめ学校に関係する皆さま、太田校下各種団体長様にはそれぞれの活動内容を手際よく紹介してくださいました。編集に関わる皆さまには、ご多用の中、貴重な原稿や資料を提供くださり心より感謝申し上げます。

古市 幸子

参考文献・資料等

- ・ 太田一歴史と風土ー 太田郷土誌発刊委員会 昭57.9月
- ・ 「あるちゃ 太田の魅力」 寺寫與資造編
- ・ 「ふるさと 太田に学ぶ」 太田小学校 昭58.3月
- ・ 「むかしあったとさ ー親子で語りあおうふるさとの民話」 伏木地区小・中生徒指導連絡会編 昭58.7月
- ・ 創立60周年記念誌「浜っ子」 太田保育園、太田保育園保護者会
- ・ 太田雨晴観光協会ホームページ
- ・ 国泰寺パンフレット
- ・ 太田雨晴観光パンフレット
- ・ 雨晴散策路パンフレット
- ・ 雨晴苑パンフレット
- ・ アルカディア雨晴パンフレット
- ・ リゾートビラ雨晴パンフレット
- ・ 有磯神社のしおり
- ・ 太田ふるさと検定 伝承の会



この冊子は「令和5年度高岡市市民共創チャレンジ事業補助金」を活用して作成しました。

令和5年9月発刊

続 太田 歴史と風土

編集 太田郷土誌編集委員会
発行 太田郷土誌発刊委員会
事務局 高岡市立太田公民館
TEL (0766) 44-0494

印刷 竹島印刷
高岡市太田4764-2
TEL (0766) 44-3195



太田郷土誌発刊委員会